

開講科目名 / Course	第1段階看護技術演習（2年次生）
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期
開講区分 / semester offered	後期
単位数 / Credits	1.0
学年 / Year	2
主担当教員 / Main Instructor	森 加苗愛
担当教員名 / Instructor	森 加苗愛
必修・選択 / compulsory subject	必修
講義形態 / Class Type	演習
科目の目的と概要	<p>本科目は「看護技術修得プログラム」のファーストステップの位置づけである。卒業時には全員が、看護実践の基本的能力として幅広い視野から人間と人間生活を理解し、倫理観をもって行動する態度と姿勢を確実に身につけること、さらに、自己研鑽しながら看護実践能力を高めていく姿勢をもつことを目的とする（アクティブラーニング）。</p> <p>提示された事例課題について援助技術の実施ができるように、教員からアドバイスを受けながら各自や各グループで練習し、実践した援助技術に対する評価を行う。</p>
到達目標	<p>対象への日常生活援助を一人で実施できる能力を身につけることができる。具体的には以下の5点を到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活援助技術の根拠を再確認して説明することができる。 2. 患者に応じた援助方法を選択して説明することができる。 3. 援助の際のリスクを判断し、説明することができる。 4. 援助の際、患者の反応を捉えつつ安全・安楽を確保した実践ができる。 5. 自己が実践した生活援助技術について評価を行うことができる。
DPとの対応	1.確かな看護の力・技術力、2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3.心豊かな人間性と倫理観
授業計画	<p>01. オリエンテーション</p> <p>02. グループメンバーおよび担当教員との打ち合わせ、今後の演習の計画立案</p> <p>03-05. グループワーク：課題事例の看護援助に関する取り組み</p> <p>06-08. ワークノート指導：ワークノートに対する担当教員からの指導・評価・修正</p> <p>09-11. 課題に対する技術チェック演習・担当教員からの指導</p> <p>12-13. 看護技術演習のまとめ、振り返り</p>
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の3段階実習終了後から3年次の4段階実習までの期間にあたり、自己の課題を明確にして主体的に技術演習に取り組むことができる。 ・1事例に対し2つの課題を提示し、メンバー全員が同じ事例で共通認識できるよう工夫されている。 ・事例課題へのワークの取り組みや看護技術演習においては、学生6～8名のグループを1名の看護系教員が担当し、指導を行う。学生のニーズに応じて個別ならびにグループ指導ができる指導体制が確保されている。
時間外学修	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・成老年実習室を開放する。但し、土曜・日曜は原則として使用できない。 ・実習室の使用にあたっては、学内実習ガイドブックを参考にすること。 ・e-ラーニングの学習環境として、Nursing Skillsの利用は学内PCも学外（自宅PC、タブレット、スマートフォン）もいずれも可能である。
評価方法と評価割合	<p><技術チェック></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) グループ内の1名の学生に行い、その評価をグループ全員の技術評価とする。 2) 各グループで作成したワークノートの援助実施方法に沿って評価する。 3) 技術評価基準は以下とする。 <p>合格：「きちんと実施できる」「多少難があるが、ほぼ実施できる」「安心」「完ぺきではないがほぼできている」「多少努力が必要」</p> <p>不合格：「全く実施できない」「ほぼ実施できない」「実施しなかった」「実施はしたが、患者に危険・苦痛を与えている」</p> <p><全体的取組み></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ワークノートへの取組み、技術練習の取組み、技術チェック時の方法、手際、所要時間などの要素を総合的に評価する。基本は「合格」とし、総合的にみて「取り組んでいない」と判断する場合は「不合格」とする。 <p>【合格判定基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 可否の判定は<技術評価>と<全体的取組み>の評価で行う。 2) 技術評価及び全体的取組みにおいて、ともに合格のものを合格とする。
テキスト	決まったテキストは使用しない。学生各自がグループ学習を進めながら、課題事例に応じてe-ラーニングや参考図書を活用すること。
参考書	
履修する上で必要な要件	

その他	オリエンテーションで資料を配付して説明を行うので出席すること。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	森加苗愛：病院の看護師 看護系教員10名程度：全員が看護師経験を有する。
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	根拠に基づいた知識・技術と豊かな臨床経験を学生指導に活かす。	